

ダイジェスト版

JAグループ福島復興ビジョン

 JAグループ福島

全体図

I 基本理念

- 消費者と共生する、「安全・安心なふくしま農業」の復興
- 「安心して暮らせる地域社会再生」への貢献
- 組合員・利用者の「営農とくらしを守る協同組合」の再構築

II 目指す姿

安心して
農業に勤
しんでいる

農畜産物
「福島ブラ
ンド」がトッ
プブランド
として確立
している

多様な担
い手のもと、
農業生産
が回復、
拡大して
いる

地域の絆・
地域社会
が構築さ
れている

JAが組合
員・地域に
とってかけ
がえのな
い存在とし
てその役
割を発揮
している

Ⅲ 実践項目

本県農畜産物の安全・安心確保対策を通じた「福島ブランド」の信頼回復と向上

本県農業生産基盤（農地・施設・担い手）の復旧・復興の促進

くらしの支援活動を通じた「くらしの安全・安心」の確保

震災・原発事故による環境変化に対応し復興を担う強固なJA経営の確立

相双地域をはじめとする地域医療の再建・復興

原発事故問題への国・東京電力の責任ある対策を求める農政運動の協力的な展開



Ⅳ 実践期間と実践方策

1. 実践期間

10年間

（福島県復興計画期間と同期）

2. 実践方策

＜平成24年度に実践すべき事項＞

- ・平成24年度事業計画に具体策を策定し実践

＜中期的取組課題の実践方策＞

- 「協同の力による震災・原発事故からの復興」を第38回JA福島大会議案の柱に
- 各JA・連合会の次期3か年計画に具体策を策定し実践



JAグループ福島復興基金の活用

I 基本理念

徹底した放射性物質の除染によって安全・安心な生活圏の確保をはかることを前提に本県農業の復旧・復興を目指すとともに、「地域に密着し、地域とともにある」JAとして農業分野を中心に「福島県の復興」の一翼を担います。そのため、以下の「基本理念」のもとにⅡに掲げる「目指す姿」の実現を期して、実践に取り組めます。

1 消費者と共生する、「安全・安心なふくしま農業」の復興

「農業の復興なくして福島県の復興のないこと」を確信し、生産者と消費者の双方にとって安全・安心できる状況づくりを通じて、全国に誇れる本県農業の復興に取り組む。

2 「安心して暮らせる地域社会再生」への貢献

組合員・地域住民を主役として、県、市町村、各種協同組合、地元企業等とも連携をはかり、安心して暮らすことができ、かつ活力ある「ふるさと」の再生に向けて取り組む。

3 組合員・利用者の「営農とくらしを守る協同組合」の再構築

組合員・利用者にとって拠り所となる「地域にとってかけがえのないJA」として、激変した環境のもとでその役割をフルに発揮するため組織・事業活動の再構築に取り組む。

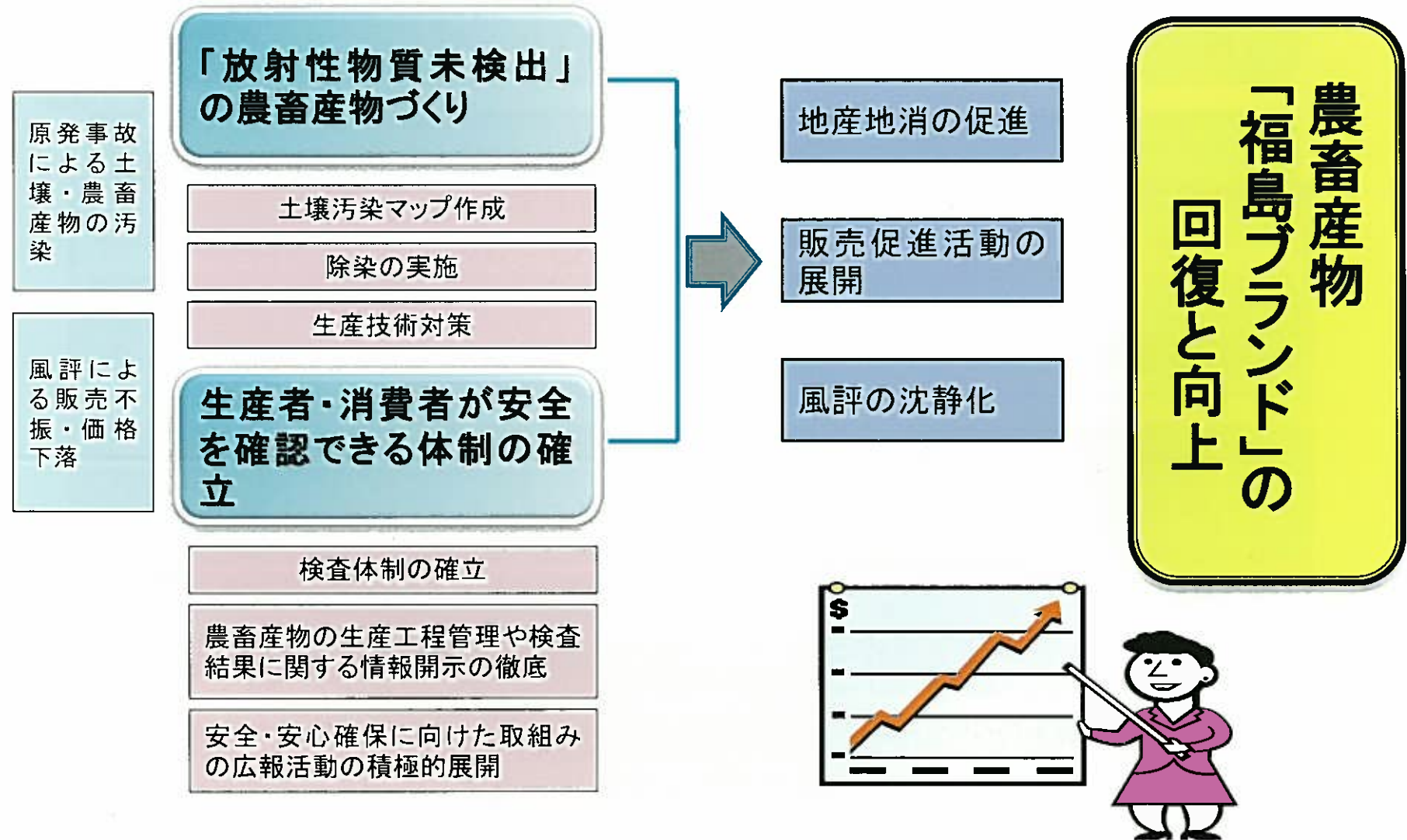
Ⅱ 目指す姿

復興後の本県農業・JAが「目指す姿」を以下の通りとして、復興ビジョンの実践に取り組みます。

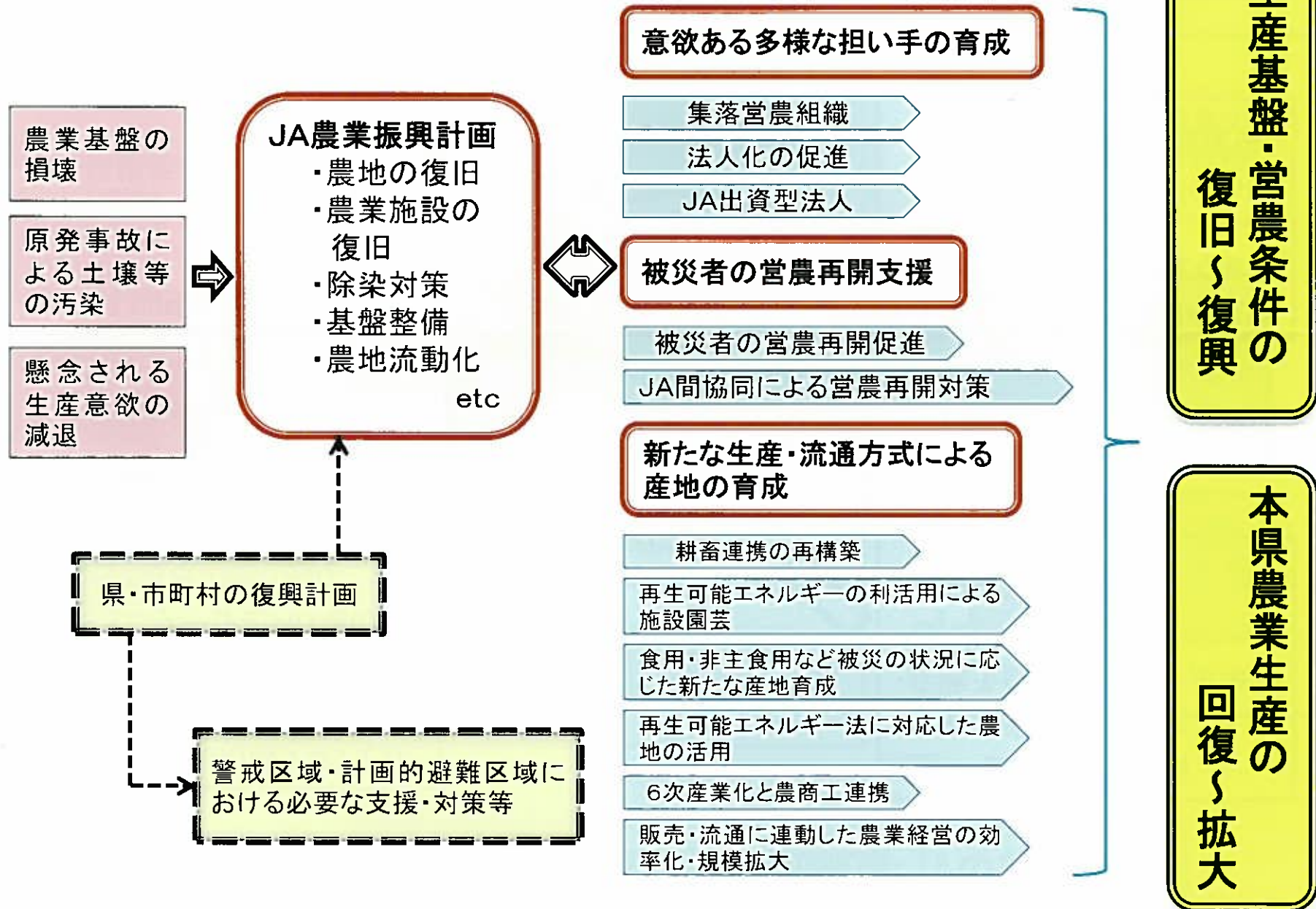
1. 農地と地域の除染・除塩等が進展し、生産者が安心して農業に勤しんでいる姿
2. 農畜産物「福島ブランド」が消費者の信頼を得て全国トップブランドとして確立されており、地産地消も活発に展開されている姿
3. 生産基盤と営農条件が復旧・復興し、多様な担い手のもとで農業生産が回復し拡大している姿
4. 組合員・地域住民がふるさとで安心して暮らすことができ、従前にも増した絆で結ばれた地域社会が構築されている姿
5. 強固な組織・経営基盤のもと「福島県の復興」の一翼を担い、JAが組合員・地域にとってかけがえのない存在としてその役割をフルに発揮している姿

Ⅲ 実践項目

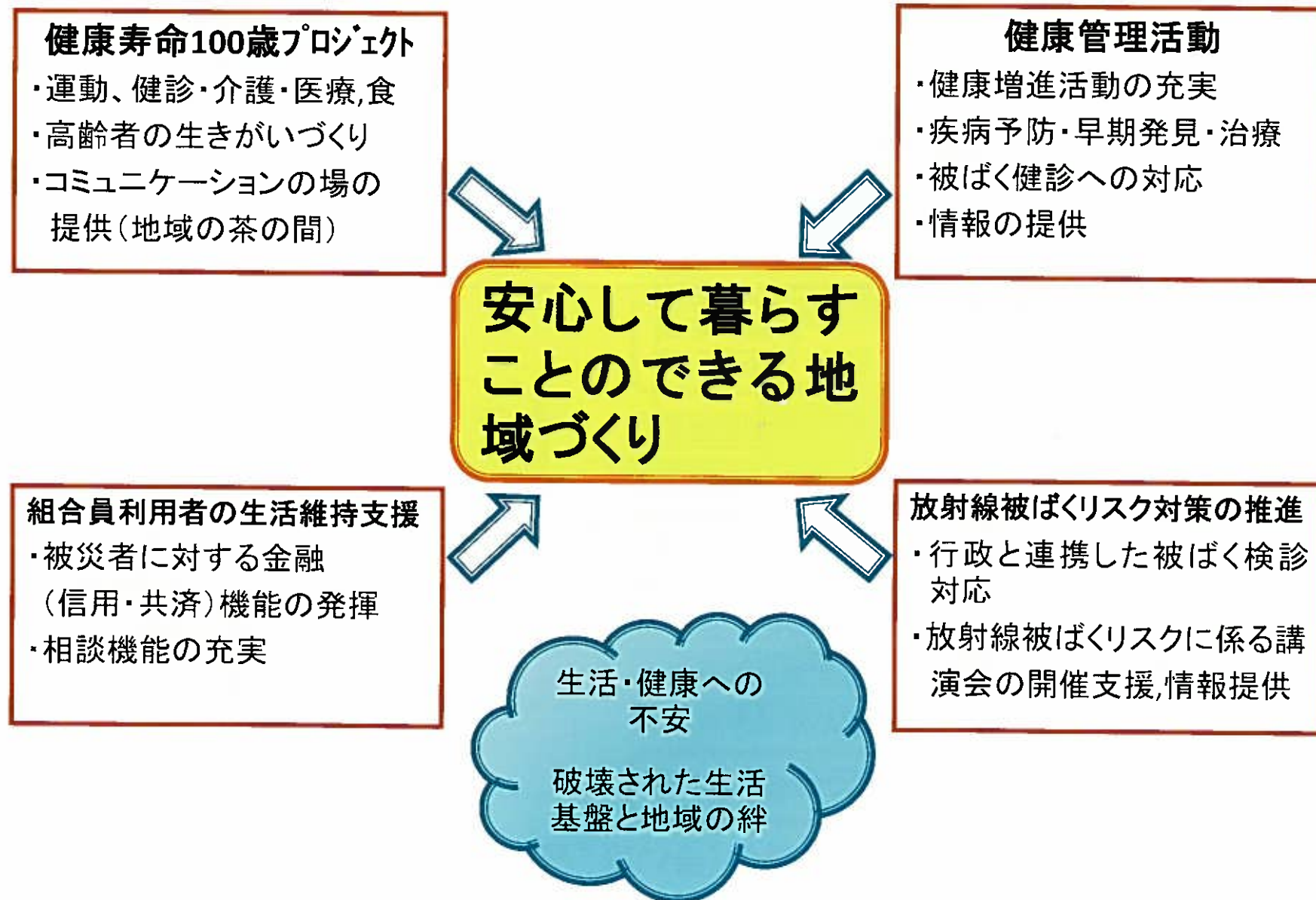
(1) 本県農畜産物の安全・安心確保対策を通じた「福島ブランド」の信頼回復と向上



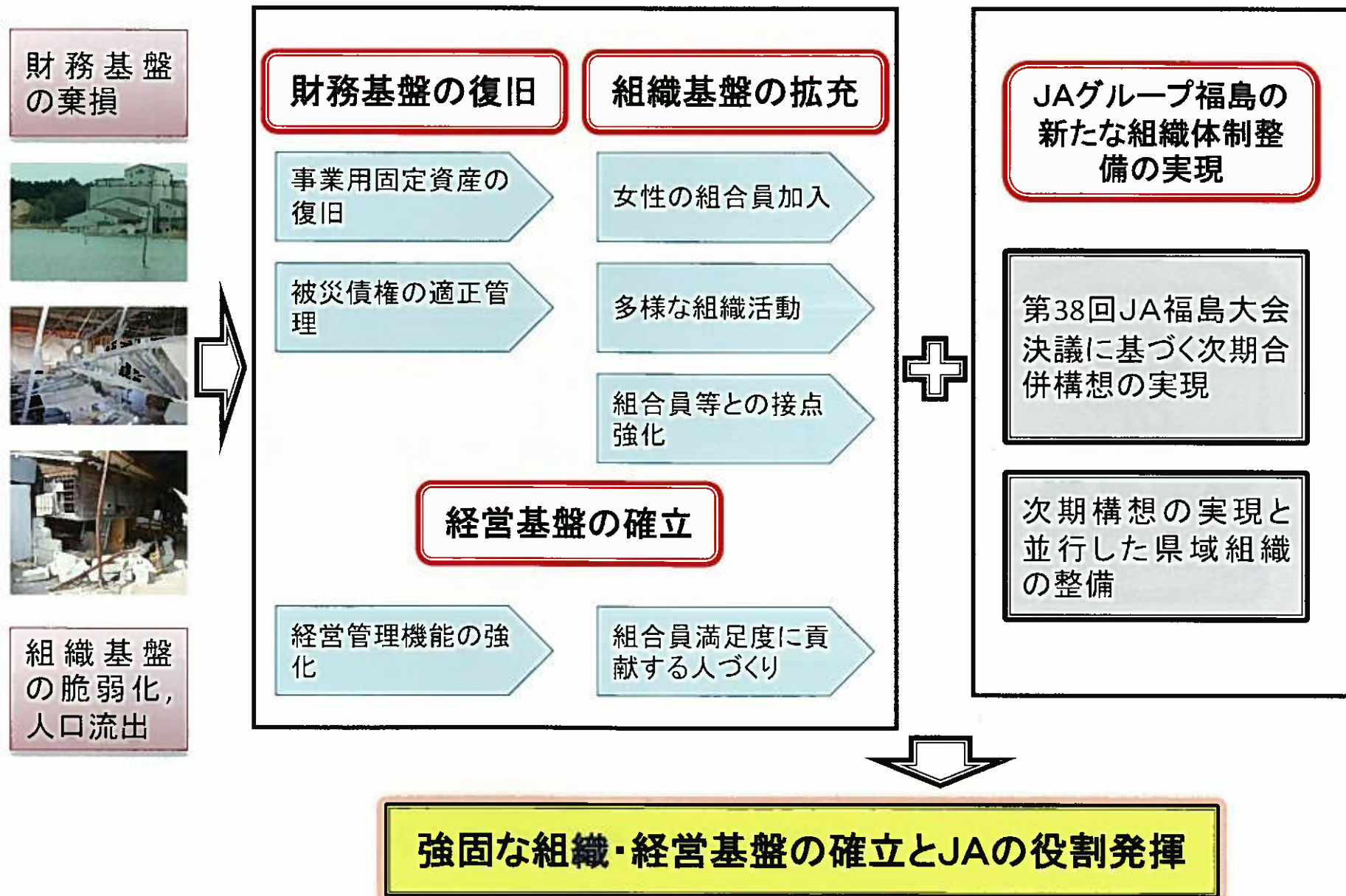
(2) 本県農業生産基盤(農地、施設、担い手)の復旧・復興の促進



(3) 暮らしの支援活動を通じた「暮らしの安全・安心」の確保

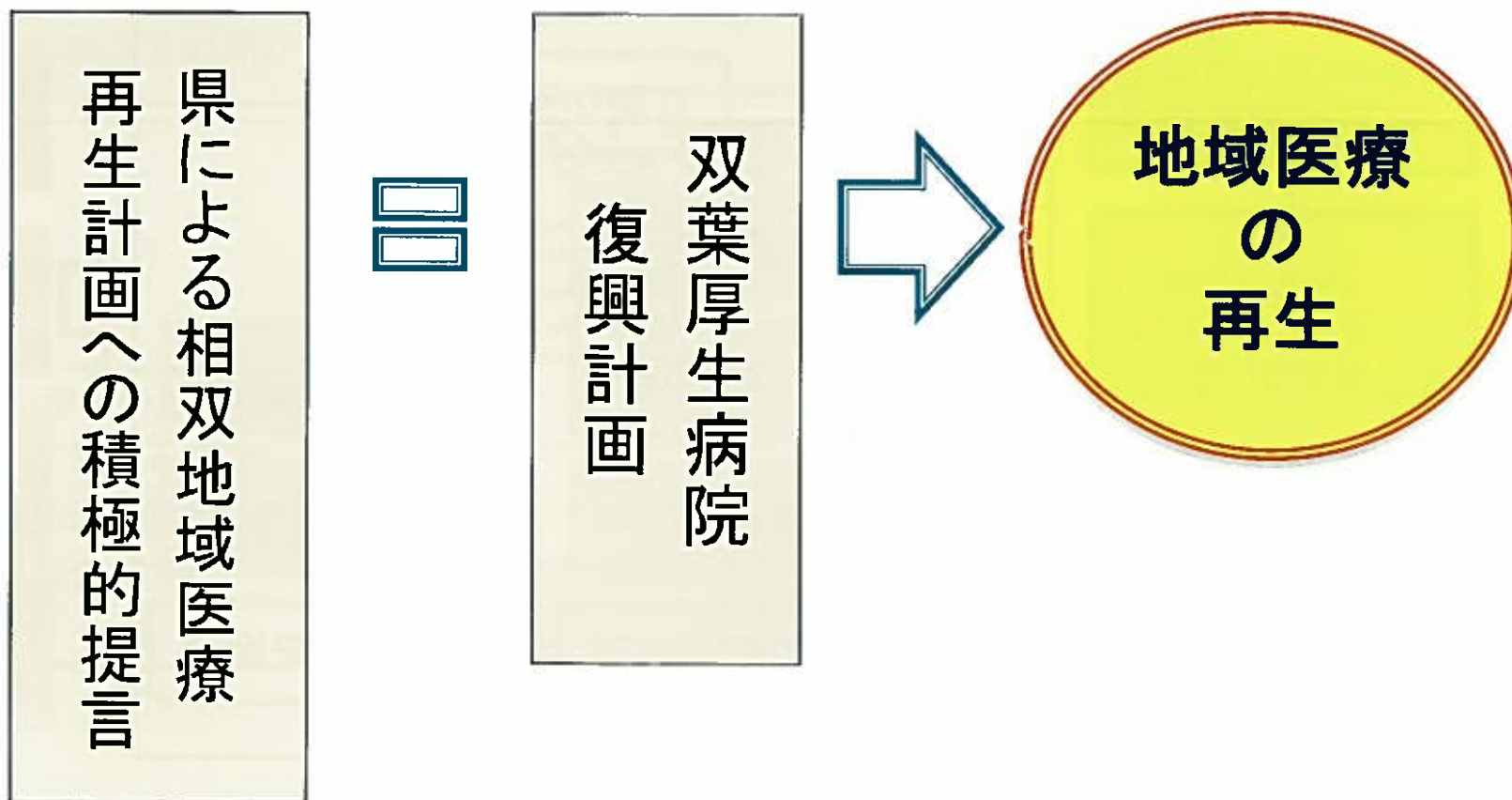


(4) 震災・原発事故による環境変化に対応し復興を担う強固なJA経営の確立



(5) 相双地域をはじめとする地域医療の再建・復興

双葉地域医療復興計画との連携



(6) 原発事故問題への国・東京電力の責任ある対策を求める農政運動の強力な展開

本県農業の復旧・復興にかかわる諸対策について国・東京電力が誠意と責任をもってあたるよう、事態が完全に収束するまで継続して展開します。

- ① 農地の除染、風評対策、放射性物質に関する情報提供等生産者・消費者が共に安心できる前提条件整備の早期実現に向けた政策・予算確保要求
- ② 前記の実践項目への取り組みを支援する諸政策・予算確保の要求
特に、長期営農が困難視される地域における営農対策(非主食用生産、新エネルギー対応を含む)の明示と国策としての政策展開の要求
- ③ 放射性物質と農業に関する試験研究の充実(国機関の設置、福島大学の農学研究領域の拡充を含む)要請
- ④ 万全な損害賠償・補償の実現
- ⑤ 復興を促進する基本農政の確立に向けた取り組み



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.